



団体の概要

概要及び設立時期

全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会（全米輸）は、オールジャパンで日本産コメ・コメ関連食品の輸出を促進する全国団体として、平成27年(2015年)8月13日に設立。

目的

我が国の良質なコメ・コメ関連食品の海外での需要の開拓・拡大を図り、世界のマーケットに届けるため、

- ① オールジャパンで取り組む共通課題の洗い出し・解決に向けた協力体制の構築
- ② 輸出拡大を通じた、我が国のコメ生産者の所得向上
- ③ 輸出拡大に向けた、輸出事業の共同展開等を実施する。

代表者

代表理事 木村 良

会員

輸出事業者 : 木徳神糧(株)、(株)クボタ、(株)神明、千田みずほ(株)
生産者団体 : 全国農業協同組合連合会、ホクレン農業協同組合連合会
パックご飯メーカー : (株)大潟村あきたこまち生産者協会
米粉・米粉製品 : 群馬製粉(株)、小林生麺(株)、(株)波里 等 **全93会員**※
※令和7年3月31日時点

主な取組

- **海外における販路開拓活動**
会員企業を取りまとめて、輸出拡大重点国を中心に、商談会の開催・展示会への出展
- **海外におけるジャパンブランドの確立**
日本産コメ・コメ関連食品を浸透させるためのWEBサイトの充実や日本産米の特性をアピールするための資料作成
- **輸出ターゲット国・地域の市場・規制調査**
米国エージェントによる市場調査、取扱店の新規開拓や、各国におけるパッケージデザイン調査、外国人旅行者向けに日本産米粉のPR等を実施



米国での商談会（令和6年度）



日本産米の特性PR資料



海外における販路開拓活動

海外での商談会の開催

- 輸出拡大重点国を中心に、現地事業者と商談会を開催。
- 会員の意向を踏まえ、ディストリビューター、レストランや小売店のバイヤーなどを幅広い分野から招へい。
- 商談会では、日本産米の魅力や特性が伝わるように、セミナー、クッキングショー、試食・食べ比べにより、成約率を高める取組を実施。



JFOODO・養殖魚団体等と連携し
寿司の試食を実施／米国（令和6年度）



JETRO・カレー団体等と連携し日本式カレーを紹介/
イギリス（令和6年度）



展示会への出展

- 新規バイヤーとの「思わぬ出会い」が期待できる海外展示会への出展。
- 展示会と個別商談会を組み合わせ、成果に結び付ける取組を実施。
- 刺身×日本産米の「本場の寿司」を提供するなど他品目とのコラボを実施。



Winter Fancy Food Show/米国（令和6年度）

海外におけるジャパンブランドの確立

- 海外の方が一目見ただけで「日本らしさ」を感じられる「富士山・桜・太陽」をモチーフに、稲穂が雲を突き抜けて育つように思いを込めて統一ロゴマークを作成。
- 日本産米などの商品、PR用ポスター、チラシ、名刺などに使用することで、日本産品であることをアピール。



輸出ターゲット国・地域の市場・規制調査

- 効果的なマーケティング活動を実施するために、輸出拡大重点国における消費者調査を実施。また、各国での規制変更に対応するための調査を実施。

〔全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会
からの聞き取り等を基に農林水産省が作成〕